



夢は見るものではなく叶えるもの

サッカーの第6回女子ワールドカップドイツ大会で、日本代表「なでしこジャパン」が優勝し、世界一になりました。暗いニュースが続く中で、明るい話題が日本中を駆けめぐりました。PK戦では、緊張するどころか、逆に笑顔を決定的な姿が、アメリカとは対照的でした。そして、大会MVPにも選ばれた沢選手の言葉「夢は見るものではなく叶えるもの」は、夢を勝ち取った人の言葉だけに重みがありました。

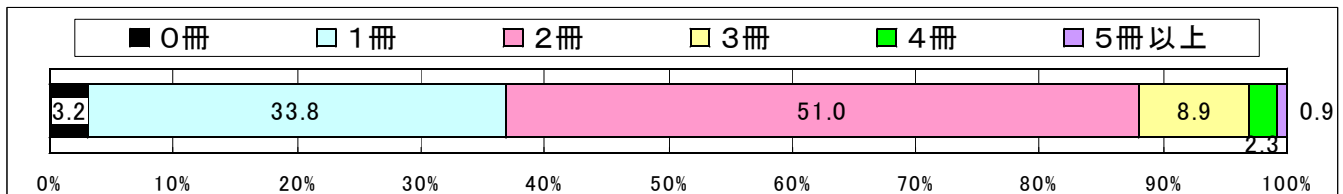
いよいよ夏休みです。特に、3年生にとっては、この夏が夢を実現するかどうかの大切な40日になります。夢を叶えるためにも、最後まであきらめずに頑張ってください。みなさんも“なでしこ”の一人です。

運も確かに味方してくれた。でも、サッカーの神様は、きつと言うはずだ。「最後まであきらめない頑張り」は素晴らしい。私は彼女たちの背中をちょっと押しただけだよ ◆「なでしこジャパン」が悲願の世界一を達成。日本のスポーツ史に輝かしい1ページを書き加えた ◆ 苦しい試合だった。地元ドイツ紙が「音楽を奏でるようなリズム」と評した持ち前のパスワークが影を潜め、序盤は防戦一方。アメリカチームの放つシュートが再三、ポストやバーにはじかれる幸運にも恵まれたが、劣勢でも歯を食いしばり、我慢強く戦った。内面の強さが何より優勝の原動力だった ◆ 選手個々人は瞬発的なスピード、体格では、まだ世界の最高レベルに達していない。それでも、足りない部分を補って余りある特質が勝利の女神をほほ笑ませたのだろう ◆ チームを引っ張ったのは、何といても5大会連続出場、主将を務めた沢穂希選手。32歳の年齢を全く感じさせず、ダイナミックに躍動した。「夢は見るものではなく叶えるもの」。座右の銘を大舞台で見事に形にしてみせた ◆ 優勝インタビューでは、東日本大震災の被災者が復興に向け、強い気持ちで歩み始めた様子に勇気をもらったと話す選手もいた。粘り強くひたむきな彼女たちのプレーが今度は、被災地はもちろん、日本中に勇気を届けた ◆ しかつめらしい論評や分析は必要あるまい。今はただ、惜しめない拍手と「ありがとう」の言葉を彼女たちに贈りたい。 ※ 四国新聞『一日一言』から引用

タートルノートの進捗

家庭学習の習慣化を図るため、全校で取り組んでいるタートルノート。期末テストが終わった段階で、何冊目が終わっているかを調べたところ、下のような結果が出ました。「1冊」は、1冊目が終わって2冊目に入っているということです。全校生徒の63%がすでに3冊目に突入しています。ちなみに、クラスごとにみると、トップ3は、3-3(2.49冊)、2-4(2.01冊)、3-2(1.97冊)となっています。

夏休みも、「バケーションタートルノート」でしっかりがんばりましょう。



台風6号の影響

大型で非常に強い台風の影響で、体育祭に続いて、期末懇談会も延期になってしまいました。3連休をさせていただいたため、迅速な対応ができず、保護者の皆様にはたいへんご迷惑・ご心配をおかけしました。延期の日時については、学校内でもいろいろな意見が出ましたが、7月22日(金)に、19日と同じ時間帯で実施することにしました。マチコミメールや防災無線で連絡しましたが、すべての家庭に行き届かないため、マチコミメールに加入していないご家庭には、学級担任が電話連絡をしました。都合が悪い場合は、学級担任に連絡し、日時を調整してください。なお、7月22日午後7時から実施予定のPTA夏季懇談会は、予定どおり実施いたします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。